

稲敷市小中学校 I C T 支援業務プロポーザル評価要領

1 プロポーザルの評価

(1) プロポーザルの評価は、本要領に基づいて行い、それを参考にして審査委員会の審議により選定する。

(2) 企画提案書等の評価表及び配点は、下記のとおりとする。

2 企画提案書等の配点

	評価項目の種類	配点
企画資料等	・企業の概要、企業実績	10
企画提案書	・ I C T 支援員の採用及び確保体制 ・ I C T 支援員の管理体制 ・ 危機管理体制 ・ I C T 支援員の業務内容と業務計画	70
ヒアリング	・ 専門技術力 ・ 取組意欲 ・ プレゼンテーション力	15
価格評価	・ 見積金額	5
合計		100

3 企画資料の評価基準

評価項目		評価基準	配点 (最高点)
企業の概要・企業実績	資本金	参加者中、資本金1位の場合は1点とする。 以下、資本金に応じて点数を比例配分とする。	1
	従業員数	参加者中、職員数が1位の場合は1点とする。 以下、職員数に応じて点数を比例配分とする。	1
	雇用ICT支援員人数	参加者中、雇用ICT支援員人数が1位の場合は3点とする。以下、職員数に応じて点数を比例配分とする。	3
	過去5年間のICT支援員業務受託等の実績	①地方公共団体へのICT支援員業務の実績を5件以上有する者は3点 ②地方公共団体へのICT支援員業務の実績を3件以上有する者は2点 ③地方公共団体へのICT支援員業務の実績を1件以上有する者は1点 ④その他0点	3
	会社組織	参加者中、ICT支援員事業を含む会社全体の組織体制規模が1位の者は2点とする。 2位の者は1点、3位以下の者は0点とする。	2
小 計			10

(1) 企画資料の評価

企画資料の評価は、評価基準の採点方法に基づき評価点を算出し、点数は小数点以下第3位を四捨五入した値とし、10点を満点とする。

4 企画提案書の評価基準

提出された企画提案書について、次の評価基準に基づき評価する。

なお、企画提案書の内容がほとんど記載されておらず、提案内容が判断できない、業務目的に反する記載や事実誤認等、適切な業務執行が妨げられる内容となっている、実施方針と特定テーマの企画提案に矛盾等があり、整合性が図られていない場合は評価しない。

評価項目	評価基準	配点 (最高点)
I C T支援員の採用 及び確保体制	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い支援業務を行うことが出来る能力を有するI C T支援員を採用するための体制・基準・方法がとられているか。 ・I C T支援員の配置は適切か。また、そのフォロー体制が充実しているか。 	10
I C T支援員の管理 体制	<ul style="list-style-type: none"> ・I C T支援員の配置前に十分な支援力を身に付けるための研修が用意されているか。研修の期間及び頻度、研修内容は適切か。 ・教育に関わる知見・リソースを企業として豊富に有しており、支援員の継続的なスキルアップのための研修等の機会を設けているか。また、支援のために必要な最新の教育知見や活用ツール等に関する支援員間の情報連携ができる体制が構築されているか。 ・派遣元営業所のスタッフ体制（組織、人員、業務内容、役割分担）は適切か。 ・I C T支援員のサービス・勤務状況の把握、管理、相談対応のための体制が構築されているか。 ・ヘルプデスク等の設置により、学校からの問い合わせやトラブルやクレーム等に迅速な対応ができる体制が構築されているか。 	15
危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・欠員が生じた場合の補充体制が構築されているか。 ・事故や災害等に関する管理体制が構築さ 	5

	れているか。また、保障内容は適切か。	
I C T支援員の業務 内容と業務計画	・ I C Tを活用した授業づくりのため、目的・場面に応じた提案ができるか。	5
	・ I C Tの活用事例や支援のノウハウが蓄積される仕組みがあり、支援員は他自治体の事例なども自由に活用できるか。	5
	・ I C T機器及びソフトウェアの活用促進に向けた研修支援ができるか。 ・校務全般に係る I C T機器の活用支援および操作支援ができるか。	5
	・最新の校務支援・教育サイトおよび活用ツール等について、学校に効果的な支援や助言を行うことができるか。	5
	・ I C T機器の障害が発生した場合に適切な対応ができるか。	5
	・学校のニーズや課題を明確に把握するための工夫があり、課題解決に向けた具体的な提案や支援ができるか。	5
	・情報モラル教育やプログラミング教育等、児童生徒の情報活用能力の向上に関する授業支援ができるか。	5
	・本業務の目的に合致した有益な追加提案がされているか。	5
小 計		70

(1) 企画提案書の評価

提案内容の的確性、実現性、創意工夫等についての評価とし、次に掲げる評価項目の採点基準に基づき評価を行う。評価点を算出し、点数は小数点以下第3位を四捨五入した値とし、70点を満点とする。

【評価項目の採点基準】

評価	評価内容	採点基準
A	優れている	配点×1.00
B	やや優れている	配点×0.75
C	普通	配点×0.5
D	やや劣っている	配点×0.25
E	劣っている	配点×0

5 ヒアリングの評価基準

ヒアリングの質疑応答の内容について、次の評価基準に基づき評価する。
ヒアリングでは企画提案書に記載された事項に関する企画提案内容、あるいは取組み姿勢等に関する質疑応答を行う。

評価項目	評価基準	配点
ヒアリング	専門技術力 ・当該業務の業務方針、問題点と解説策などがきちんと説明でき、関連する分野の業務経験や知識が豊富である。	5
	取組意欲 ・当該業務を実施する上での課題や問題点が把握されている。 ・疑問点について積極的な質問がある。	5
	プレゼンテーション力 ・質問に対する回答が的確で簡潔である	5
小 計		15

(1) ヒアリングの評価

提案内容の的確性、実現性、創意工夫等についての評価とし、企画提案書と同じ評価項目の採点基準に基づき評価を行う。評価点を算出し、点数は小数点以下第3位を四捨五入した値とし、15点を満点とする。

6 価格評価について

評価項目の種類	評価基準	配点
見積金額	<ul style="list-style-type: none">参加者中、見積金額が最も低い者を5点とする。 以下、委託上限額に対する見積金額の低さに応じて点数を比例配分とする。 (小数点以下第3位を四捨五入して第2位止め)	5

7 企画提案書の特定

プロポーザル審査委員会は、提出された企画資料等、企画提案書、及びヒアリングについて、各々の評価基準に基づき算出された合計点が最も高い者を当該業務に最適な者として特定する。合計点が同点となった者が複数あった場合は、企画提案書の評価の得点がより高い者を特定者とする。

また、企画提案書を提出したものが1者のみであった場合は、その者を評価基準に基づき評価したうえで協議し、審査委員が認めた場合はその者を最適な者として特定する。